

令和5年度 第2回射水市文化財審議会 会議概要

- I 開会日時** 令和6年1月26日（金） 午前10時から午前11時半
- II 会議場所** 庁舎会議室401
- III 出席者** [委員] 上野委員、鈴木委員、久々委員、城岡委員、島添委員、三宮委員
[事務局] 金谷教育長、久々江事務局長、遠藤次長、田中課長補佐
- IV 会議概要** 原田主査、金三津主査

1. 開会 教育長あいさつ
2. 議題(1)市有形民俗文化財「放生津八幡宮祭り曳山車四十物町曳山車」の現状変更について
報告(1)市有形民俗文化財「放生津八幡宮祭り曳山車新町曳山車」幔幕新調の進捗について
(2)能登半島地震における指定文化財等の被害状況について
3. 閉会

【質疑・発言】

議題(1) 市有形民俗文化財「放生津八幡宮祭り曳山車四十物町曳山車」の現状変更について

[委員] 二分されている心柱を一本の新材で新調するというのでよいか。また、古材の保存はどうしますか。

[事務局] 元の仕様に戻し、一本の心柱に新調します。山町の格納庫が新設されたため、古材の保存についてお願いします。

[委員] 心柱の最大径や樹種は何でしょうか。

[事務局] 心柱には能登のアテ材が多く使用されるが、今回の新調では杉材 6,500 mm×140 mmとなります。

[委員] 理想はアテ材ですが、杉材でも木口断面を確認し目の詰まった材を選ぶようお願いします。

[委員] 竹籠新調の見積業者は文化財修理の実績はありますか。

[事務局] 竹細工専門30代後半の方で文化財修理の実績はないが、山町は今後も関わっていただきたい思いもあって、見積りを徴収されています。

報告(1) 市有形民俗文化財「放生津八幡宮祭り曳山車新町曳山車」幔幕新調の進捗について

[委員] エポテックスは、仕上がりが緞帳と考えたほうがよいか、幔幕の厚み・重さはどう変化しますか。

[事務局] 緞帳製作の技術ですが祭礼幕に使用された実績もあります。厚みは、原幕より約2mm厚くなりますが、完成後にプレスをかけて若干は薄くなります。幕全体

は重くなるので、裏にポリエステル生地をあてて、幕押さえ金具で押さえます。

[委員] 緞帳となると音を吸収してしまう為、中の囃子が外部に聞こえなくなるのではないかと、また、温暖化が進んでいる為、囃子方が暑いのではないのでしょうか。

[事務局] 新町の幔幕は後方1枚が独立、まくりあげれるため、音・暑さにも対応できます。なお、原幕よりも雨や紫外線には強くなります。

[委員] 原幕を祭りの時に新湊博物館で展示するとか、今後の保存はどうしていくのか。

[事務局] 山町からは新湊博物館で預かってほしいとの要望もあり、将来的には新湊博物館での保存になるかと思えます。

[委員] 素晴らしい貴重な幕であるということを知ってもらうため、新湊博物館で保存してもらうのが一番いいと思えます。

[委員] 原本と試作織を見比べると、雲の部分の黄色味が目立つとを感じるが、専門分析結果の反映なのではないでしょうか。

[事務局] 裏地から紫外線のあたっていない糸の原色を調査して、色を復元したものです。

報告(2) 能登半島地震による指定文化財等の被害状況について

[委員] 30日(火)予定の仏像被害調査は、どの程度まで踏み込んだ調査なのではないでしょうか。

[事務局] 被害状況の詳細把握と応急処置の必要性、修理方針の検討までを予定しています。本尊以外の仏像については、修理方針が決定するまで安全な場所に保管をお願いしたいと思います。御本尊については、修理方針まで踏み込めれば業者選定も含めて、検討したいと思います。

[委員] 躰玄寺の木造阿弥陀如来立像は、地震によって落下破損したのでしょうか。

[事務局] 地震の揺れでは傾いた程度であったが、余震への心配から住職が須弥壇からおろされたと伺っています。

[委員] 寺林瀬兵衛之墓の墓石や六渡寺日枝神社の玉垣など、石材が破損してしまっているが修理できるのでしょうか。

[委員] エポキシ系の石材接着剤があるので、接着・組みなおし・ステンレス心棒・表面処理等を施せば修理は可能です。

[事務局] 六渡寺日枝神社玉垣については、石垣内部や地盤等の調査をコンサルで実施しており、玉垣全体で組みなおす耐震対策が今後必要であると考えています。

[委員] 海沿いは砂地層の軟弱地盤のため、何箇所か置きにバットレス(控壁)みたいな補強策が必要であると思えます。

[委員] 今後の大地震に備えて、審議委員がこういう場合どう対応するのか、文化財レスキューも含めた初動マニュアルの作成を検討してもらいたいと思えます。